

ビューティコアキット EX

【禁忌・禁止】

本材、メタクリル酸系モノマー又はアセトンに対して発疹、皮膚炎等の過敏症の既往歴のある患者には使用しないこと。

*【形状・構造及び原理等】

本材は歯科用支台築造材料「ビューティコア」と歯科用象牙質接着材「ビューティデュアルボンド EX」から構成され、これらを組み合わせて使用して歯科の支台築造を行うものである。

本材の「ビューティコア」は光重合型ペーストの「LC インジェクタブル」及び「LC ポストペースト」から構成される。

「LC インジェクタブル」は流動性をほとんど示さない低粘度タイプでありコアの築盛に用いる。「LC ポストペースト」は高い流動性を示す低粘度タイプであり、ポスト部の填入に用いる。

「ビューティデュアルボンド EX」は、デュアルキュア型の歯科用象牙質接着材であり「ボンドA」及び「ボンドB」から構成される。

[成分]

・ビューティコア

構成	性状	成分
LC インジェクタブル	ペースト	ガラス粉、Bis-GMA、TEGDMA、反応開始材、着色材、その他
LC ポストペースト	ペースト	ガラス粉、Bis-GMA、TEGDMA、UDMA、反応開始材、その他

「LC インジェクタブル」の色調：Dentin

・ビューティデュアルボンド EX

構成	性状	成分
ボンドA	液	精製水、アセトン、反応開始材
ボンドB	液	アセトン、Bis-GMA、カルボン酸系モノマー、TEGDMA、反応開始材、その他

[原理]

「ビューティデュアルボンド EX」はデュアルキュア型の歯科用象牙質接着材であり、可視光線（400～500nm）エネルギーによって重合硬化すると同時に、常温重合機能によっても重合硬化する。

「ビューティコア LC インジェクタブル」及び「ビューティコア LC ポストペースト」は光重合型歯科用支台築造材料であり、可視光線（400～500nm）エネルギーで重合硬化する。

*【仕様】

・ビューティコア

JIS T 6523：2015「歯科支台築造用コンポジットレジン」クラス2（光重合型）による。

X線造影性は同じ厚さのアルミニウム以上（象牙質のX線造影性以上を示す）

**【使用目的又は効果】

歯科の支台築造に用いる。ビューティコアはビューティデュアルボンド EX と組み合わせて使用することで良好な歯質への接着性を発現する。

**【使用目的又は効果に関連する使用上の注意】

【使用方法等】の「本材に使用する歯科重合用光照射器及び歯科技工用重合装置と照射時間」に記載した歯科重合用光照射器と同等の放射照度を有する歯科重合用光照射器を使用すること。他の歯科重合用光照射器等を使用する場合は、添付文書等を参考に本材に適した照射時間を確保すること。

**【使用方法等】

【本材と併用する材料】

歯科根管ポスト成形品：「ビューティコア ファイバーポスト」
歯科接着用レジメン：「レジセム」、「ビューティセム SA」

【本材に使用する歯科重合用光照射器及び歯科技工用重合装置と照射時間】

1) ハロゲン照射器

ハロゲンランプを光源とし、有効波長域 400～500nm の放射照度が 500mW/cm² 以上である歯科重合用光照射器

* 2) LED 照射器

青色 LED(照射器発光スペクトルに単一ピークあり)を光源とし、有効波長域 440～490nm の放射照度が 1000mW/cm² 以上である歯科重合用光照射器

* 3) 歯科技工用重合装置

ハロゲンランプを光源とする歯科技工用重合装置

メタルハライドランプを光源とする歯科技工用重合装置

・「ビューティデュアルボンド EX」の照射時間

*表1. 歯科重合用光照射器による照射時間

歯科重合用光照射器	ハロゲン照射器	LED 照射器
照射時間	10 秒	5 秒

・「LC インジェクタブル」及び「LC ポストペースト」の照射時間と光硬化深度の目安^{*1}

表2. 歯科重合用光照射器^{**2}による照射時間と光硬化深度(mm)

歯科重合用光照射器	照射時間	LC インジェクタブル	LC ポストペースト
		Dentin	
ハロゲン照射器	20 秒	3.4	4.5
	40 秒	3.9	6.0
LED 照射器	10 秒	3.4	4.6
	20 秒	3.9	6.0

表3. 歯科技工用重合装置^{**2}による照射時間と光硬化深度(mm)

歯科技工用重合装置	照射時間	LC インジェクタブル	LC ポストペースト
		Dentin	
ハロゲンランプ型	180 秒	3.0	4.4
メタルハライドランプ型	150 秒	3.0	4.3

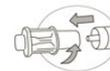
**1 試験方法は JIS T 6523:2015 による。

**2 上記に記載の機器を使用。

【使用方法】

* 1) LC ポストペースト及びLC インジェクタブルの準備

下記の手順にて付属のニードルチップをシリンジ先端に正しく取付けます。



シールドキャップを回しながら引き抜きます。



ニードルチップをシリンジ先端部に挿入後、時計回りに回してしっかりと固定します。

2) 直接法

① LC ポストペースト及びLC インジェクタブルの準備

1) LC ポストペースト及びLC インジェクタブルの準備に従って、それぞれのペーストを準備します。

② 築造窩洞の形成

通法に従い根管形成・根管充填を行った後、築造窩洞を形成します。必要に応じてラバーダム等を用いて防湿を行います。

- ③ 歯科根管用ポスト成形品（以下、歯科用ポスト）の準備（試適）
適切な長さ及び太さの歯科用ポストを選択し、築造窩洞に試適します。アルコール綿球等で歯科用ポストを清掃した後、適切な表面処理を施します。

④ 歯面処理

ポンドAとポンドBを松風Vディッシュに等量（1滴ずつ）採取し、ディスクブラシファインで十分に混合します。その混合液を築造窩洞に塗布し10秒間放置した後、十分にエア乾燥します。エア乾燥後、歯科重合用光照射器を用いて光照射（ハロゲン照射器：10秒照射、LED照射器：5秒照射）を行い、光重合させます。

⑤ 築造窩洞への填入及び歯科用ポストの植立

LCポストペーストを築造窩洞内に直接填入します。準備した歯科用ポストを速やかに築造窩洞内に挿入し、歯科重合用光照射器を用いて光照射を行い、歯科用ポストを固定します。なお、窩洞が深い場合は表2を参考に数回に分けてペーストの填入・光照射を行います。

⑥ 支台築造

LCインジェクタブルを歯科用ポストの周囲に築盛します。築盛後、舌側、唇（頬）側及び咬合面等の数方向から歯科重合用光照射器を用いてそれぞれ光照射を行い、光重合させます。なお、ペーストの築盛と光照射は表2を参考に必要に応じて数回に分けて行います。

⑦ 支台歯形成

通法に従い支台歯形成を行います。

3) 間接法

① 築造窩洞の形成

通法に従い根管形成・根管充填を行った後、築造窩洞を形成します。

② 印象採得及び模型製作

通法に従い築造窩洞の印象を採得し、模型を作製します。

③ LCポストペースト及びLCインジェクタブルの準備

1) LCポストペースト及びLCインジェクタブルの準備に従って、それぞれのペーストを準備します。

④ 歯科用ポストの準備（試適）

適切な長さ及び太さの歯科用ポストを選択し、模型上の築造窩洞に試適します。アルコール綿球等で歯科用ポストを清掃した後、適切な表面処理を施します。

⑤ 模型上の築造窩洞への填入及び歯科用ポストの植立

模型上の築造窩洞に本材の付着を防止する分離材を塗布した後、LCポストペーストを模型上の築造窩洞内に直接填入します。準備した歯科用ポストを速やかに築造窩洞内に挿入し、歯科重合用光照射器又は歯科技工用重合装置を用いて光照射を行い、歯科用ポストを固定します。なお、窩洞が深い場合は表2又は表3を参考に数回に分けてペーストの填入・光照射を行います。

⑥ 支台築造

LCインジェクタブルを歯科用ポストの周囲に築盛します。

歯科重合用光照射器を使用する場合

築盛後、舌側、唇（頬）側及び咬合面等の数方向から光照射を行い、光重合させます。なお、ペーストの築盛と光照射は表2を参考に必要に応じて数回に分けて行います。

歯科技工用重合装置を使用する場合

築盛後、光照射を行い、光重合させます。なお、ペーストの築盛と光照射は表3を参考に必要に応じて数回に分けて行います。

⑦ ポストコアの再重合

ポストコアを模型から取り外し、ポストコアに分離材が付着している場合にはそれらを取り除いた後、歯科重合用光照射器又は歯科技工用重合装置を用いてポストコア全体を再度光照射し、充分硬化させます。なお、歯科重合用光照射器を用いる場合は、表2を参考に数回に分けてポストコア全体を光照射します。歯科技工用重合装置を用いる場合は、ハロゲンランプ型：180秒、メタルハライドランプ型：150秒間光照射を行います。

⑧ ポストコアの形態修正

ポストコアを形態修正した後、50～100μmのアルミナ粒子を用いて、被着面を0.1～0.2MPaの弱圧でサンドブラスト処理を行い、水洗・乾燥します。

⑨ 歯面清掃及びポストコアの試適

通法に従い根管内を清掃した後、ポストコアを築造窩洞に試適します。試適後、通法に従いポストコアを清掃します。

⑩ ポストコアの装着

歯科接着用レジンセメントを用いて、製作したポストコアを根管に装着します。

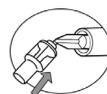
⑪ 支台歯形成

十分に硬化した後、通法に従い支台歯形成を行います。

* [使用方法に関連する使用上の注意]

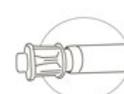
「ビューティコア」に関する使用上の注意

- 1) ペーパーパッド上に取り出した本材は遮光カバーで遮光すること。
- 2) ニードルチップは感染防止のため、同一患者のみに使用し、他の患者への再使用はしないこと。
- * 3) LCインジェクタブル及びLCポストペーストは使用後、ニードルチップを破棄し、以下のいずれかの方法にて保管すること。



保管方法①

新しいニードルチップを装着後、その先端部にシールドキャップ [反対側] を装着して保管します。



保管方法②

シリンジ先端部にシールドキャップを装着して保管します。

- * 4) ニードルチップを交換する際は、清潔な医療用（歯科用）手袋を着用すること。
- * 5) 使用後は感染防止のため、シリンジ及びシールドキャップをガーゼ等を用いてアルコールで清拭し、確実に蓋をすること。その際、ペーストにアルコールが混入しないよう注意すること。
- 6) 照射口はできるだけ修復部位に近接させて、修復部位に対して垂直に保持して光照射すること。また、修復部位の表面積が大きい場合は数回に分けて光照射を行うこと。

「ビューティデュアルボンド EX」に関する使用上の注意

- 1) 「ビューティデュアルボンド EX」は揮発成分を含むため、採取後直ちに容器を密栓すること。また、「ビューティデュアルボンド EX」は採取後、すみやかに使用すること。
- 2) ディスクブラシファイン及び松風Vディッシュは感染防止のため、再使用しないこと。
- 3) 採取後の「ビューティデュアルボンド EX」は、感染防止のため同一患者のみに使用すること。
- 4) 唾液、血液等で処理面が汚染された場合は水洗・乾燥又はエタノール清拭後に、「ビューティデュアルボンド EX」による歯面処理を再度行うこと。
- 5) 「ビューティデュアルボンド EX」が根管内で液溜りとなった場合はペーパーポイント等で吸い取った後、エア乾燥を行うこと。
- 6) 照射口はできるだけ築造窩洞に近接させて、光照射を行うこと。築造窩洞が深い場合には必要に応じて追加の光照射を行うこと。
- 7) 処置する際は、排唾管やバキュームを作動させ、口腔内の水、唾液等を吸引すること。

「ビューティコア」及び「ビューティデュアルボンド EX」に関する使用上の注意

- 1) 窩洞内に残存したアマルガム又は他の裏装材は本材の硬化を妨げる可能性があるため完全に取り除くこと。
- 2) 形成面が歯髄に近い場合は、覆髄材により保護すること。（ただし、ユージノール系裏装材は使用しないこと。）
- 3) 本材を冷蔵庫で保管している場合は、使用する前に室温に戻してから使用すること。
- 4) 歯科重合用光照射器を用いた光照射時において、術者は照射光の直視を避け、保護眼鏡や遮光板等を使用すること。また、術者は患者の目に照射光が直接当たらないよう保護すること。
- 5) 使用後は、歯科重合用光照射器は感染防止のためアルコールで清拭すること。

【使用上の注意】

[重要な基本的注意]

- 1) 本材の使用により発疹、湿疹、発赤、潰瘍、腫脹、かゆみ、しびれ等の過敏症状が現れた患者には使用を中止し、医師の診察を受けさせること。
- 2) 本材の使用により発疹、湿疹、発赤、潰瘍、腫脹、かゆみ、しびれ等の過敏症状が現れた術者は使用を中止し、医師の診察を受けること。
- 3) 本材、メタクリル酸系モノマー又はアセトンに対して発疹、皮膚炎等の過敏症の既往歴のある術者は使用しないこと。
- 4) 「ビューティデュアルボンド EX」はアセトンを含んでいるため、換気のよい場所で使用すること。万一、蒸気を吸入して気分が悪くなった場合は、新鮮な空気の場所で暖かくして休憩すること。
- 5) 「ビューティデュアルボンド EX」は、可燃性であるため必ず火気を避けて使用すること。
- 6) 本材との接触による過敏症を防ぐため、医療用（歯科用）手袋及び保護眼鏡の着用等の防護措置を執ること。また、口腔軟組織や皮膚に付着した場合には、すぐにアルコール綿球等で拭った後、大量の流水で洗浄すること。なお、医療用（歯科用）手袋は本材の直接的な接触を防ぐが、一部のモノマーが短時間のうちに浸透することが知られているので、本材が付着した場合は直ちに手袋を捨て、流水で充分洗浄すること。
- 7) 本材が万一目に入った場合には、すぐに大量の流水で洗浄し、眼科医の診察を受けること。

[その他注意]

- 1) 「ビューティデュアルボンド EX」が歯肉等の粘膜に付着した場合、その部分が白っぽくなることがあるが、これは一過性の現象で、2～3日で白変は消失します。なお、この間は、白変部分に直接的な刺激を与えないように配慮すること。（ブラッシング等は避けること。）

【保管方法及び有効期間等】

[保管方法]

- ・高温、多湿、直射日光、火気等を避けて、冷蔵庫（1～10℃）で保管すること。
- ・本材は歯科の従事者以外が触れないように適切に保管・管理すること。

[有効期間]

本材の使用期限は包装に記載のとおり。

[当社データによる]

※(例)  YYYY-MM-DD は→使用期限 YYYY 年 MM 月 DD 日を示す)

**【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者 株式会社 松風

住所 〒605-0983

京都市東山区福稲上高松町 11

** 電話番号 (お客様サポート窓口) 075-778-5482